

➤ 理事会・評議員会の開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

【報告内容】

- ①理事会の開催

理事会を4回開催した

	開催日	議案
第1回理事会	5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度 事業報告について承認を受ける件 ● 平成27年度 決算報告について承認を受ける件 ● 任期満了による理事、監事、評議員の改選候補者の推薦について承認を受ける件 ● 平成28年度 定時評議員会の招集について承認を受ける件 ● 平成28年度 第1回臨時評議員会の招集について承認を受ける件
第2回理事会	5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表理事の選定
第3回理事会	10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ● メンタルヘルス事業の開設について承認を受ける件 ● ころすこやか財団グループホーム移転のための土地購入について承認を受ける件
第4回理事会	3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成29年度事業計画（案）について承認を受ける件 ● 平成29年度収支予算（案）について承認を受ける件 ● 平成29年度資金調達及び設備投資の見込みについて承認を受ける件 ● 平成29年度役員等関連取引について承認を受ける件 ● 主たる事務所移転について承認を受ける件 ● 平成28年度第2回臨時評議員会の招集について

- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を2回開催した

	開催日	議案
定時評議員会	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度事業報告について意見具申と承認を受ける件 ● 平成27年度決算報告について意見具申と承認を受ける件 ● 任期満了に伴う理事、監事、評議員の選任
第1回臨時評議員会	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2期評議員の任期中に行われる評議員会議長の選定について ● 常勤理事の報酬額の決定
第2回臨時評議員会	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成29年度事業計画案について意見具申と承認を受ける件 ● 平成29年度収支予算案について試験具申と承認を受ける件 ● 平成29年度資金調達及び設備投資の見込み書類について意見具申と承認を受ける件

➤ 一般相談支援事業／地域活動支援センターI型事業／指定地域相談支援事業

● 地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 森 富茂子

【報告概要】

障害者及び家族からの来所相談・電話相談・訪問相談を行い、生活全般・医療・日常生活上の悩み事等に対して必要な情報の提供及び助言、解決策を講じ、関係機関との連絡調整やケース検討を行うことにより解決に努めた。また他事業所に情報提供や助言を行い、八戸市においては、障がい者相談支援事業者連絡会議の運営に携わり、委託を受ける事業所としての役割を担った。医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談をされることも多く、各障害特性別の対応を心掛けた。また、在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が気軽に立ち寄れる環境作りを行った。そしてこれらを実施することで、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるように支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センターI型事業
- ③指定地域相談支援事業 (地域移行支援・地域定着支援)

【報告内容】

①相談支援事業

1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・ピアカウンセリングに関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

必要に応じて、同行や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施、また委託市町村へ毎月実績報告書を提出した。

月	行動報告	
	支援内容	年間延利用件数
随時	訪問	368 件
	来所による相談	2,264 件
	同行支援	33 件
	電話相談	707 件
	関係機関との連絡調整	505 件
	個別ケア会議	3 件

2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え相談支援事業が適切かつ円滑に実施されるよう、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。新郷村では出張相談会を開き、青明舎への来所が難しい地域の方の相談を受け付ける機会を設けた。

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行う。
新郷村	出張による相談会の実施 6月、9月、12月、3月

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）への参加

月	行動報告
6月20日 9月5日 10月19日 2月2日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議事務局会議
7月29日 10月26日 11月21日 2月14日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議
5月12日 7月7日 9月29日 10月27日 2月16日	八戸市障がい者就労支援団体ネットワーク化会議

4) 入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方、各市町村が運営する住宅入居者に、必要な調整等の支援を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整、地域生活の支援、緊急時の対応・支援 ※登録者：6名 ※年間延べ利用件数：109件

5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について各市町村と連携を取りながら支援する事としていたが、対象者がいなかった。

②地域活動支援センターI型事業

1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

月	行動報告	参加数
4月	活動室年間スケジュールの作成	
5月	達者村ぼたん祭り	5名
6月	イオン下田ショッピングツアー	4名
7月	映画鑑賞会&お茶会	5名
8月	すこやか祭り（本部）	20名
9月	バーベキュー	12名
10月	南部町ぶどう狩り	15名
11月	ピザ作り教室	7名
12月	もちつき大会（本部）	17名
1月	正月イベント	7名
2月	うどん打ち体験	7名
3月	ランチ外食	7名

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施した。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
12月19日	八戸学院大学にてサポーター養成講座実施。※参加者7名

4) ライフサポート

日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告	
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応、定期訪問	
通年	支援内容	年間延利用件数
	入浴	228件
	洗濯	52件
	インターネット	27件
	食事作り	139件
	夜間オンコール	252件

③指定地域相談支援事業

1) 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談に応じた。

月	行動報告
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・住居確保その他の地域生活に移行するための相談支援 ・地域生活への移行のための外出時の同行 ・障害福祉サービスの体験利用の調整 ・地域移行支援計画の作成 ※登録者：3名 ※年間延利用件数：32件

2) 地域定着支援

居宅において単身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じた。28年度登録者は3名。

➤ 指定計画相談支援事業

● 特定相談支援事業所青明舎

報告担当者 センター長 森 富茂子

【報告概要】

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援することに務めた。

障害福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行った。

【報告項目】

- ①指定特定相談支援事業（サービス利用支援・継続利用支援）

【報告内容】

- ①指定特定相談支援事業

サービス利用計画・障害児支援利用計画案等の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行った。

月	行動報告
随時	相談支援・サービス利用計画作成・サービス担当者会議実施・モニタリング実施・作成料請求業務

※登録者数・実績表

月	新規(利用支援)	継続(継続支援)	新規登録者数
4月	6名	10名	4名
5月	5名	17名	2名
6月	4名	17名	1名
7月	4名	15名	4名
8月	6名	21名	3名
9月	5名	24名	3名
10月	6名	15名	4名
11月	8名	24名	7名
12月	4名	27名	1名
1月	5名	22名	4名
2月	6名	23名	4名
3月	6名	25名	5名
合計	65名	240名	42名

➤ 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業） / 青森県障害者就業・生活支援事業

● 障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適応により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的として運営した。

【報告項目】

- ①雇用安定事業
- ②生活支援等事業

【報告内容】

①雇用安定事業

1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、職場実習の実施、事業所への説明、利用者への説明、短期職場実習制度の利用、求職活動支援、職場定着支援

2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	家庭・職場・実習先への訪問巡回、職場定着支援、利用登録の意志確認、在職者交流会

3) 目標件数の達成状況

目標件数設定項目	平成28年度 目標値	平成28年度 達成値	達成率
支援対象障害者数（人）	270人	303人	112%
障害者に対する相談・支援件数（件）	2,500件	2,822件	116%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数（件）	21件	22件	104%
就職件数（件）	23件	33件	143%

4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

事業が円滑かつ効果的に行われるように関係機関と連絡を密にし、連携体制を構築した。

月	行動報告
4月20日	第1回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
6月14日	第1回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
6月10日	ジョブコーチ推進協議会
6月11日	第1回在職者交流会実施
6月14日	第1回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
6月24日	三沢地区障がい者就労支援連絡会総会参加
7月22日	センターみさわ登録説明・2年生に対する講話（七戸養護学校）
7月23日	進路講話会（青森第二高等養護学校）参加
7月25日	四者面談（青森第二高等養護学校）参加

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

8月26日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
9月4日	第2回在職者交流会実施
10月21日	障害者就職面接会後援、参加
11月17日	第2回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
11月23日	第3回在職者交流会実施
12月15日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
1月26日	十和田ハローワーク 障害者就職ミニ相談会 共催
2月17日	第4回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
2月17日	青森県発達障害者支援センタードアーズ連携協議会
3月11日	第4回在職者交流会実施
3月随時	移行支援会議（七戸、青森第二高等養護学校）参加
適宜	県内各障害者就業・生活支援センター事業連絡会議参加 特別支援学校生徒、企業実習の巡回協力実施 ハローワークとのチーム支援会議実施
毎月	地域自立支援協議会（三沢市・十和田市）参加

5) 啓発活動

月	行動報告
2月4日	第6回上十三地区障害者就労支援セミナー後援
2月9日	ステップアップ講座
2月22日	青森県労政・能力開発課との共催による優良事業所見学会

②生活支援等事業

1) 日常生活の自己管理に関する指導・助言

月	行動報告
随時	生活習慣の形成や日常生活の自己管理のための助言 健康管理や金銭管理等に関する指導・助言 保健医療機関、生活支援サービス利用の支援を実施

2) 地域生活に関する指導・助言

月	行動報告
随時	住居の確保や年金などの申請に関して助言 活用できる福祉サービスの利用調整を実施 就業後や休日における余暇活動について助言

3) 生活設計に関する指導・助言

月	行動報告
随時	長期的な視野での生活設計等について指導・助言 本人の自己選択・自己決定に関する助言

4) 家族、知人との関係の調整や緊急時の対応等の支援を行った。

5) その他就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

➤ 指定共同生活援助事業（外部サービス利用型）

- こころすこやか財団グループホーム

報告担当者 管理者 森 富茂子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「外部サービス利用型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
 - 「あおぞら（定員：女性7名）」「あおば（定員：男性5名）」「あおめ（定員：男性6名）」
 - 「あおみ（定員：男性7名）」
- ②グループホームの移転準備

【報告内容】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営

1) 個別支援計画の作成及び提供

利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた個別支援計画を作成し提供するとともに、断続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
適宜	アセスメント
適宜	個別支援計画の評価・個別支援計画の作成検討会議
適宜	個別支援計画の作成と同意・提供

2) 関係機関との情報共有及び連携

利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 サービス担当者会議・ケア会議の実施、参加

3) 生活の質の向上及び健康維持

生活の質の向上と健康維持の為の援助を提供した。

実施月日	実施内容
H28年11月6日 H29年2月14日	日中想定通報・避難訓練 夜間想定避難訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談 建物管理・設備管理・環境整備・大掃除支援等
H29年1月14日 H29年2月26日	バス外出・外食会(参加8名) バス外出・外食会(参加5名)

4) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連への請求及び代理受領 会計に関する諸記録の整備

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

5) 生活費等の出納管理

家賃、水光熱費、その他日常に要する費用に関する金銭管理を行った。

実施月日	実施内容
毎月2日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

実施月日	行動計画
随時	訓練給付サービス支給更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

7) 外部サービス利用時の連絡調整

実施月日	行動計画
随時	個別支援計画に基づいた居宅介護支援事業所への依頼及び連絡調整 関係機関への情報提供等

8) グループホーム便り作成

入居者家族や関係機関に、グループホームでの取り組み入居者の生活の様子などを見える形にして発信し理解を得ることを目的として、グループホーム便りを作成し郵送した。

実施月日	実施内容
H29年3月	家族・支援者等22か所に郵送

9) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら 定員7名(女)			あおば 定員5名(男)			あおめ 定員6名(男)			あおみ 定員7名(男)		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H28.4月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
5月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
6月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	1	0	4
7月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
8月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
9月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
10月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
11月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	1	1	4
12月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
H29.1月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
2月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	4
3月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	2	0	6
延利用者数計	0	0	60	0	0	60	0	0	72	4	1	48

②グループホームの移転準備

現在のあおみ・あおばを統合し定員10名として移転する目的で、土地(八戸市田面木赤坂39-7)を取得。

➤ 指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）

● グループホーム青風荘

報告担当者 管理者 高橋昭徳

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「介護サービス包括型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同で自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう日常生活上において必要となる援助を行い、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

【報告項目】

- ①グループホーム青風荘の運営（定員 20 名）

【報告内容】

①グループホーム青風荘の運営

- 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整

1日を通して日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を24時間体制で提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回りや家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

- 2) 日中活動の場等関係機関との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～土	通所リハビリテーション青陽館、障害者生活訓練施設青山荘スタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

- 3) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

利用者・家族の現状やニーズなどを把握するためにアセスメント及びモニタリングを実施し、個別支援計画を作成し、それに基づいて適切なサービスを提供した。

実施月日	実施内容
随時（6ヶ月以内）	個別支援計画書の作成及び更新 個別支援計画作成検討会議

- 4) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
H28年3月	苦情処理における第三者委員会の開催
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

- 5) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕（毎日）	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病患者対象（1名）～血糖検査
H28年8月	頭部CT検査（20名）
H28年12月	胸部X-P（一般者20名）
H29年1月	心電図（20名）

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

H28年9月・H29年3月	定期採血（一般セット・20）
H28年11月	インフルエンザ予防接種（20名）

6) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H28年6月	避難誘導訓練（夜間想定）
H28年10月	避難誘導訓練（日中想定）
H29年3月	避難誘導訓練（日中想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検表の提出

7) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

8) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等法定代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	国保連への請求・受領 会計に関する諸記録の整備

9) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

10) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

月	行動計画
5月	誕生会
6月	調理教室
7月	調理教室・バーベキュー
8月	誕生会
9月	いちご狩り（おいらせ町）
10月	紅葉ドライブ（洋野町大野）
11月	誕生会
12月	クリスマス忘年会（施設内）
H29年1月	新年会（施設内）
3月	誕生会

11) 年間利用者状況（利用者数は毎月末日現在）

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H28.4月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
5月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
6月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
7月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
8月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
9月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
10月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
11月	10	10	20	0	0	0	0	0	0

平成28年度 事業報告

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

12月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
H29.1月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
2月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
3月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
計	120	120	240	0	0	0	0	0	0

➤ 指定自立訓練（生活訓練）／宿泊型自立訓練

● 障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 高橋 昭徳

【報告概要】

障害者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を行った。また、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供、地域連携に努めた。

【報告項目】

①障害者生活訓練施設青山荘の運営

（通所型生活訓練 定員 20 名 宿泊型生活訓練 定員 20 名）

【報告内容】

①障害者生活訓練施設 青山荘の運営

1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施

利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて、利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき達成目標を設定し、サービス担当者会議を経て個別支援計画を作成した。個別支援計画書作成後、3ヶ月に1回以上定期的に個別支援計画実施状況の把握を行い必要に応じて個別支援計画の変更を行った。

実施月日	実施内容
随時	アセスメントの実施、個別支援計画の作成 モニタリングの実施（3ヶ月に1回以上）、個別支援計画の見直し

2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施

- | | |
|------------|------------|
| ◆健康管理 | ◆掃除・整理 |
| ◆食生活 | ◆買い物 |
| ◆セルフケア（保清） | ◆服装 |
| ◆生活リズム | ◆コミュニケーション |
| ◆安全・危機管理 | ◆外出・余暇支援 |
| ◆金銭管理 | ◆運動 |
| ◆すまい | |

実施月日	実施内容
毎月20日	翌月のプログラム予定表を作成
毎日	各利用者に合わせて集団・個別プログラムを実施

3) 運営に関する会議

利用者に関する情報の共有、連絡事項、支援内容の見直しなどについて会議内で検討した。

実施月日	実施内容
毎週	利用者に関する情報・連絡事項・支援内容の見直し等について所内会議を行った

4) 関係機関との情報共有、及び連携

利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供、及び医療、関係機関、家族との密接な連携を図った。

実施月日	実施内容
適宜	必要に応じて関係機関・家族への情報提供（家族交流会）、ケア会議の招集、ケア会議への参加

5) 生活の質の向上・維持

実施月日	実施内容
毎月	苦情処理委員会の開催
8月・12月	避難訓練（消防計画・報告書の提出）

6月・9月 12月・3月	消防用設備の自主点検実施（自主点検は3ヶ月に1回実施。 29年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票をH30年4月に消防署へ提出）
-----------------	---

6) 生活費等の金銭管理

利用者・家族の希望に応じて生活費等の金銭管理等を行った。

実施月日	実施内容
適宜	新規利用者へ金銭管理方法を確認 事業所で通帳・印鑑・現金等を預かる際は、預かり証にサインをいただいてから預かった

7) 訓練等給付費の請求及び受領業務

毎月サービス利用費等を国保連へ請求する。また国保連よりサービス利用費の代理受領業務を行った。

実施月日	実施内容
毎月	サービス利用費等を国保連へ請求

8) 年間利用者状況

a 「宿泊型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者数			訓練修了者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H28.4月	7	5	12	0	0	0	2	0	2
5月	5	5	10	0	0	0	1	1	2
6月	5	4	9	1	0	1	0	1	1
7月	6	3	9	1	0	1	0	0	0
8月	6	3	9	0	0	0	0	0	0
9月	6	3	9	0	0	0	0	0	0
10月	7	3	10	1	0	1	1	0	1
11月	6	3	9	0	0	0	0	2	2
12月	6	1	7	0	0	0	0	0	0
H29.1月	7	1	8	1	0	1	0	0	0
2月	8	1	9	1	0	1	1	0	1
3月	9	2	11	2	1	3	1	0	1
計	78	34	112	7	1	8	6	4	10
年間平均利用数			9.3						

b 「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者			訓練終了者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H28.4月	5	8	13	0	0	0	1	0	1
5月	4	8	12	0	0	0	1	1	2
6月	4	7	11	1	0	1	0	0	0
7月	5	7	12	1	0	1	0	0	0
8月	5	7	12	0	0	0	0	0	0
9月	5	7	12	0	0	0	0	0	0
10月	6	7	13	1	0	1	1	1	2
11月	5	6	11	0	0	0	0	2	2
12月	5	4	9	0	0	0	0	2	2
H29.1月	6	2	8	1	0	1	0	0	0
2月	7	2	9	1	0	1	0	0	0

平成28年度 事業報告

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

3月	9	3	12	2	1	3	1	0	1
計	66	68	134	7	1	8	4	6	10
年間平均利用数	11.1								

➤ 指定就労移行支援事業

● **障害者就労移行支援事業（名称未定）**

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加のための就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に障害者の自立した生活を助長するため障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関しての検討を行う予定としていたが、未検討となった。

【報告項目】

- ①障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

【報告内容】

- ①障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

設置場所の検討、立ち上げスケジュールの作成、立ち上げ時期の検討を実施予定としていたが、他事業立ち上げにより検討できなかった。

➤ 八戸市在宅介護支援センター推進事業

● 在宅介護支援センターたえみ（多笑）

報告担当者 センター長 松倉典子

【事業報告】

地域の高齢者世帯、独居、要介護状態となる可能性がある高齢者又はその家族等に対して、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、家族の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、医療、福祉サービス(介護保険を含む)が総合的に受けられるよう各関係機関との連携を図り、常に最適な援助が利用できるよう支援する事を目的として事業を行った。また、地域の高齢者見守りネットワーク構築やボランティアの育成・活用を行い、高齢者福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ①高齢者実態把握事業
- ②介護予防プラン作成事業
- ③介護予防教室事業
- ④高齢者見守りネットワーク事業
- ⑤ボランティア育成・活用事業

【報告内容】

①高齢者実態把握事業

1) 担当地区の高齢者に対し、心身・その他についての生活状況の把握を行った。

月	実施内容		
担当地区	一般介護予防対象者	介護予防・生活支援サービス対象者	計
田面木	72名	38名	110名
館	56名	22名	78名
豊崎	35名	18名	53名
合 計	年間訪問者数：241名		

2) 民生児童委員定例会議への参加し、担当地区（田面木、館、豊崎）民生児童委員と地域住民の情報交換を行った。

月	実施内容	計
毎月第2土曜日	田面木地区民生児童委員定例会議出席	9回
毎月10日	館地区民生児童委員定例会議出席	9回
	合 計	18回

②介護予防プラン作成事業

1) 実態把握で訪問した高齢者を対象に要介護状態を防ぐために予防プランを作成した。

担当地区	一般介護予防対象者	介護予防・生活支援サービス対象者	計
田面木	72名	38名	110名
館	56名	22名	78名
豊崎	35名	18名	53名
合 計	241名		

③介護予防教室事業

1) 地域住民が交流し、かつ要介護状態にならないよう介護予防教室を実施した。

田面木	15回
館	3回
豊崎	14回
合 計	32回

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

④高齢者見守りネットワーク事業

1) 町内会・地区社協・民生委員・ほのぼの交流協力員等と連携し、独居や高齢世帯の住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、見守りネットワークを構築した。

上田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	4回
南田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	4回
合 計	8回

⑤ボランティアの育成・活用事業

1) 地域住民を対象とし、認知症サポーター養成講座を開催した。
 2) 介護予防教室の援助や高齢者地域見守りネットワークにおける見守り協力員としてそれぞれ活用した。

月	実施内容
H28年10月	田面木地区社会福祉協議会主催の田面木まごころネットワークのプログラムの中で認知症サポーター養成講座の開催
通年	介護予防教室開催に伴い、ボランティアの依頼
通年	見守り隊員として、地域の高齢者の見守りを実施

➤ 指定（介護予防）認知症対応型通所介護事業

● 結び家

報告担当者 管理者 田中秀美

【事業概要】

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰り提供した。また自宅にこもりがちな利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とし事業に取り組んだ。更に若年性認知症者の支援にも力を入れ、若年性認知症サポートセンターゆえみとして、若年性認知症者及びその家族を対象としたサロン活動を実施し、当事者の仲間作りや悩み相談、そして家族の不安や悩み等の解消及び情報交換による心理的負担を軽減することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①（介護予防）認知症対応型通所介護事業の運営
- ②若年性認知症サポートセンターゆえみ事業
- ③スタッフ教育

【報告内容】

- ①（介護予防）認知症対応型通所介護事業の運営

1) 通所支援事業

(1) 日常生活とのつながりを意識した認知症者の自立につながるサービスを提供した。

サービス提供日：月曜日～金曜日（年末年始は除く）

月	利用者延人数	平均利用者数 (1日)	利用率(月)	稼働率	登録者率
H28年4月	194	9.2	76.98%	90.65%	84.92%
5月	176	8.0	66.67%	81.86%	81.44%
6月	172	7.8	65.15%	83.90%	77.65%
7月	195	9.3	77.38%	95.59%	80.95%
8月	197	8.6	71.38%	92.49%	77.17%
9月	196	8.9	74.24%	95.15%	78.03%
10月	189	9.0	75.00%	96.43%	77.78%
11月	198	9.0	75.00%	94.29%	79.55%
12月	208	9.5	78.79%	93.69%	84.09%
H29年1月	196	9.3	77.78%	92.02%	84.52%
2月	203	10.2	84.58%	98.07%	86.25%
3月	234	10.2	84.78%	95.90%	88.41%
	延利用者合計	平均利用者数(1日)	利用率月平均	稼働率月平均	登録者率月平均
	2,358	9.08	75.64%	92.50%	81.73%

(2) 在宅生活を支えるための地域・家族交流の実施

月	実施内容
9/6～9/8	グッジョブ受け入れ（三条中学校2名）
12/27～	八戸シニアはつらつポイント事業受入機関等指定決定
H29/1/18	なにゃどやらクラブ（慰問）
H29/2/15～	八戸シニアはつらつポイント事業でのボランティア受入開始。

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

(3) 安定した収入の確保（営業関係）

広報活動：医療機関、居宅介護支援事業所等への広報活動を実施した。

月	実施内容
4～3月	ゆえみ、悠湯の里、利用者の居宅介護支援事業所
その他	外部研修、会議時の案内、営業

(4) 運営推進会議

月	実施内容	参加人数
6/30	趣旨説明、自己紹介、前年度事業報告	6名
12/15	上半期事業報告、認知症について 若年性認知症総合センターについて	6名

2) 相談支援事業

認知症高齢者だけではなく、若年性認知症及び認知症を発症した障害者の相談にも積極的に応じ、適したサービスを利用できるよう情報の提供を行った。他事業所と連携を図り、認知症者本人の豊かな地域生活につながるよう支援を実施した。

月	実施内容		
H28年4月	利用相談 1件	家族相談 1件	利用中止相談 0件
5月	利用相談 4件	家族相談 1件	利用中止相談 2件
6月	利用相談 0件	家族相談 3件	利用中止相談 2件
7月	利用相談 0件	家族相談 2件	利用中止相談 2件
8月	利用相談 0件	家族相談 1件	利用中止相談 0件
9月	利用相談 3件	家族相談 0件	利用中止相談 2件
10月	利用相談 3件	家族相談 0件	利用中止相談 0件
11月	利用相談 5件	家族相談 2件	利用中止相談 0件
12月	利用相談 2件	家族相談 0件	利用中止相談 0件
H29年1月	利用相談 2件	家族相談 3件	利用中止相談 1件
2月	利用相談 4件	家族相談 1件	利用中止相談 0件
3月	利用相談 2件	家族相談 0件	利用中止相談 1件
合計	利用相談 26件	家族相談 14件	利用中止相談 10件

②若年性認知症サポートセンターゆえみ事業

若年性認知症者及びその家族を対象としてサロン活動（すこやかサロン結喜）を月1回実施し、本人や家族の交流の場として、仲間作りや家族の精神的負担の軽減を図った。

月	実施内容	参加者数		
		家族	当事者	計
H28年4月	竹ノ子ご飯・春キャベツとイワシのスパゲティ・スープ	4	4	8
5月	WY-入のマッシュルームカレー・コンソメスープ・コンソメ	3	2	5
6月	枝豆ごはん・丹南蛮・アスパラガスのパスタ炒	4	3	7
7月	バーベキュー	5	4	9
8月	そうめん(つゆ2種)・塩豆腐のかつれー風	4	4	8
9月	炊込ご飯・レタスのキムチ・高野豆腐と朴葉煮物	3	3	6
10月	田子ガーリックセンターにて各自昼食	2	3	5
11月	炊込ご飯、ピリ辛大根とこんにゃく、豆乳鍋	4	3	7
12月	カレーライス、サラダ、野菜スープ	3	3	6
H29年1月	きのこの炊込ご飯、マカロニサラダ、豚汁	2	2	4
2月	恵方巻、お稲荷、朴葉草のお浸し、味噌汁	5	3	8
3月	ちらし寿司、卵豆腐、漬物、お吸い物	4	3	7

③スタッフ教育

スタッフの質の向上を図る事で、サービスの質の向上につなげる。

月	形態	実施内容
4/22	法人研修	苦情対応 ～顧客満足の為の意識向上
6/11	勉強会	認知症の基礎知識、支援方法について
6/11	外部研修	シナプソロジーインストラクター養成コース（豊間根）
7/5	法人研修	障害者の権利擁護と虐待防止について
7/9	勉強会	レビー小体型認知症について
8/20	勉強会	アトリチ（訪問面接）の支援場面での安心・安全を考える
8/22	外部研修	青森県認知症介護実践研修（荒川）
9/10	法人研修	苦情処理の流れ、防災・緊急時対応について
9/24	啓発講演会	高齢者・障害のある人への意思決定支援のあり方について
10/8	勉強会	倫理規定、プライバシー保護について
10/10	勉強会	管理者メンタルヘルス講習
10/23	模擬訓練	認知症の人との上手な関わり方について、徘徊模擬訓練
11/11	法人研修	医療観察法および包括的暴力防止プログラム
11/12	勉強会	バイタルについて
11/12	法人研修	①省エネ対策、コスト対策②ストレスマネジメント
11/15	外部研修	認知症対応型サービス事業管理者研修（荒川）
11/24	法人研修	精神科医療の現状と統合失調症治療の最近の知見
12/10	勉強会	インフルエンザ・ノロウイルス感染予防と対応方法等
H29.1/14	勉強会	重要事項説明書について
1/14	勉強会	高齢者の緊急時対応について
1/20	法人研修	乳がんセミナー
2/11	勉強会	入浴介助について
2/11	法人研修	高齢者虐待について
2/15	事例検討会	認知症事例検討会
2/18	啓発講演会	福祉から生まれるまちづくりの一步
3/11	勉強会	在宅ケアにおいて、何故 IPW が必要なのか？
3/11	勉強会	緊急時対応について

➤ 指定居宅介護支援事業

● ケアプランセンターまゆすい

報告担当者 管理者 和久井津恵子

【事業報告】

介護を必要とする方が、居宅で適切にサービスを利用できるように介護支援専門員が心身の状況や生活環境、本人及び家族の希望等に沿ってケアプランを作成し様々な介護サービス事業所との連絡・調整を行い、適切なサービスが提供されるよう計画することで、居宅で自立した生活が送れるよう支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①居宅介護支援事業所の運営
- ②サービスマネジメントシステムの確立
- ③介護支援専門員としての人材育成

【報告内容】

- ①居宅介護支援事業所の運営
- 1) 介護（予防）給付支援サービス

(1) 利用実績の管理

ケアプランの作成、介護サービス提供事業所等との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い半年ごとに計画見直しを行った。

※月別ケアプラン作成件数

介護度 月	要支援	要介護 1・2	要介護 3・4・5	合計	新規	終了
28年4月	2	44	22	68	2	0
5月	2	44	24	70	3	1
6月	2	42	27	71	3	0
7月	3	42	27	72	3	1
8月	3	42	26	71	2	2
9月	3	42	25	70	0	0
10月	3	43	25	71	2	2
11月	3	41	26	70	1	0
12月	4	41	29	74	5	0
29年1月	4	42	28	74	1	3
2月	4	38	28	70	0	2
3月	4	41	25	70	2	1
合計	37	502	312	851	24	12

(2) 利用者に関する支援内容の適切な記録。

(3) 八戸市より委託を受け認定調査業務の実施

※認定調査委託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	10	10	10	10	5	2	2	2	3	4	4
										合計	72

2) 運営上の透明性の確保と継続性

2016年度介護サービス情報報告システム登録し情報発信を行った。

3) 在宅介護支援センターや関係機関と連携し新規利用者の獲得に繋げた。

②サービスマネジメントシステムの確立

1) 利用者・家族の在宅生活の支援

(1) 利用者が自立した生活を営むことが出来るよう十分な聞き取りを行い利用者のニーズを把握し

支援を行った。

(2) 退院時は情報提供し退院時は情報を得るよう医療機関との連携を行うことで利用者の支援を行った。

(3) 月2回居宅会議を行い利用者の情報を共有し、担当ケアマネが不在時でも対応を行った

③介護支援専門員としての人材育成

1) 介護支援専門員としての資質向上、専門知識、技術向上を図ることでマネジメントの質の向上を図った。

月	形態	実施内容
4/4	内部研修	倫理規定・業務分担・マニュアル
4/20	外部研修	事例検討会「多職種でアプローチする在宅医療への導入」
4/22	法人研修	「苦情対応」「顧客満足のための意識向上」
5/12	外部研修	「看護小規模多機能型居宅介護について」 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護について」
5/18	外部研修	事例検討会「脳出血後遺症のある患者に介入した事例」
6/11	勉強会	認知症ケアに関する理解
6/13	法人勉強会	「事故・ヒヤリハットの伴う事故防止対策について」等
7/1	外部研修	「緩和ケアについて」
7/5	法人研修	「選ばれる施設を目指す/介護事業所における接遇研修」
7/9	勉強会	「レビー小体型認知症について」
7/20	外部研修	「前頭側頭型認知症についての研修会（事例中心）」
7/26	外部研修	介護予防・日常生活支援総合事業に関する説明会
8/9	外部研修	「適正な認定調査に向けて」
8/20	内部研修	「アウトリーチの支援場面での安心・安全を考える」
9/10	法人勉強会	苦情処理の流れ、防災・緊急時の対応について
9/24	法人講演会	「高齢者・障害」のある人への意思決定支援のあり方等
10/8	内部研修	倫理規定・個人情報・プライバシー保護について
10/11	外部研修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護普及研修会 「定期巡回随時対応型訪問介護看護の重要性」等
10/26	外部研修	事例検討会「セルフネグレストへの支援」
10/27	外部研修	「地域における認知症ケア研修」
10/29	外部研修	「伝えたい介護の魅力」大逆転の認知症ケア
11/2	外部研修	「地域包括ケア実現に向けて今私たちがすべきこと」
11/2	外部研修	「暮らしの中の看取りケア～グループホームケアの場～」
11/9	外部研修	「認知症多職種連携の取り組み」～薬物治療を含めて～
11/11	法人研修	「支援現場で暴力被害から身を守るために出来る事」
11/12	外部研修	「在宅医療と多職種連携を推進するために」
11/12	法人勉強会	「省エネ対策」「ストレスマネジメント」
11/15	外部研修	認定調査従事者現任者研修
11/24	法人研修	「精神科医療の現状と統合失調症治療の最近の知見」
12/4	外部研修	「引きこもりの正しい理解のために」
12/10	勉強会	「インフルエンザ・ノロウイルス感染予防と対策方法」等
12/14	外部研修	「地域における口腔ケアの実践」
1/14	勉強会	「緊急時の対応について」
1/20	法人研修	「乳がんセミナー」
1/16	法人勉強会	「認知症介護の基礎知識」「成年後見制度」
2/4	外部研修	事例検討会「セルフネグレストへの支援」
2/11	勉強会	高齢者虐待について
3/10	外部研修	事例検討会「病院での在宅医療連携」

青森県若年性認知症総合支援センター事業

◆ 青森県若年性認知症総合支援センター

報告担当者 荒川綾乃

【報告概要】

若年性認知症に対する認識が不足し、診断される前に症状が進行し社会生活が事実上困難となるケースや、本人やその家族、企業及び医療機関が若年性認知症を知っていても、活用が可能な福祉や雇用の施策があまり知られていないことなどから、経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難になりやすいことが指摘されている。これらの問題を解消し、若年性認知症の方一人ひとりが、その状態に応じた適切な支援を受けられるように支援することを目的として運営した。

【報告項目】

- ①若年性認知症総合支援センター事業の運営（平成28年10月開設）

【報告内容】

- ①若年性認知症総合支援センター事業

1) 相談支援事業

若年性認知症の多岐にわたる相談のワンストップ窓口の開設し、訪問、来所相談、電話相談、相談会等にて以下の相談に応じた。必要に応じて同行や関係機関等との連絡調整を行った。

- ・福祉サービスの利用援助に関すること
- ・社会資源を活用するための支援に関すること
- ・社会生活力を高めるための支援に関すること
- ・権利擁護のために必要な援助に関すること

内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常相談	4	2		4	4	5	19
継続支援					2	2	4
その他	8	2		1		6	17
単純問合せ			1	1	1	1	4
計	12件	4件	1件	6件	7件	14件	44件

※出張相談会

月	行動報告
3月5日	平成28年度若年性認知症相談会 in 青森実施（青森市）

2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議の実施

発症初期から高齢期まで本人の状態にあわせた適切な支援が図られるよう、医療・介護・福祉・雇用の関係者が連携する若年性認知症自立支援ネットワークを構築するための会議を開催した。（今年度はセンターが10月開所であったため、年1回実施）

月	行動報告
2月22日	平成28年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク会議実施 ・組織会 ・情報提供 (1) 青森県の若年性認知症の実態について (2) 青森県若年性認知症総合支援センターについて ・協議 (1) 若年性認知症に関する各団体の取組・関わりについて

3) 若年性認知症自立支援ネットワーク研修

若年性認知症の人に対する日常生活上の支援、就労上の支援等のために必要な知識/技術を習得するための研修を実施した。

平成28年度 事業報告

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

月	行動報告
3月14日	平成28年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク研修実施 ・ワークショップ 若年性認知症と診断されたら～年齢と症状に応じた支援の仕方～ ・講演（講師：小野寺敦志氏） 若年認知症者への支援～本人の病態、家族状況を踏まえて～

➤ 認知症に関する事例検討事業

● 認知症事例検討会

報告担当者 荒川 綾乃

【報告概要】

認知症者になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要かを福祉専門職の方と事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

【報告項目】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

【報告内容】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

1) 市内の福祉専門職員を対象に、認知症の事例を基に各事業所での対応の仕方等を検討し、検討会を運営した。

実施日	テーマ	案内数	参加施設	参加者数
H28.2.15	事業所における認知症対応への課題と今後の取組について	7施設	6施設	12名

➤ メンタルヘルス事業

報告担当者 松倉 典子

【報告概要】

メンタルヘルスに関する事業を通して疾病発症を未然に防ぐことで、精神疾患発症の予防・早期発見・再発防止・社会復帰等の支援をする事で、心の健康を保ち、健全な地域づくりを行う事を目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①ストレスチェックの実施
- ②メンタルヘルスに関する研修会の開催及び講師の派遣
- ③その他のメンタルヘルスに関する事業

【報告内容】

①ストレスチェックの実施

労働安全法に基づき、ストレスチェックの実施対象となる者並びに企業及び法人等からの依頼により、ストレスチェックを実施した。

実施日	委託者	実施内容
平成29年2月～3月	社会福祉法人長老会	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレスチェック実施事前研修 2/8 17:30～/19:00～ 2回 ● ストレスチェックの実施及び集団分析 受検者：86名 面接指導実施：2名
平成29年3月～	医療法人青仁会	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレスチェックの実施及び集団分析 受検者：259名

②メンタルヘルスに関する研修会の開催及び講師の派遣

実施日	委託者	実施内容
平成29年2月8日	社会福祉法人長老会	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレスチェック実施事前研修の実施

③その他のメンタルヘルスに関する事業

実績なし

➤ 障害者の作品展示

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者の創作した美術作品を公開する場を設けた。また、その美術作品を通して、地域住民やその他の方に対し、展示作品の説明、紹介を行い、障害への理解・認識を促進するため事業を行った。

【報告項目】

- ① 障害者の作品展示
- ② 作品見学会の実施

【報告内容】

- ① 障害者の作品展示
 - 1) 病気の症状等の現れともいえる作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めていただいた。
 - 2) すこやか会館での作品常設展示を実施

月	実施内容
通年	常設展示

- ② 作品見学会の実施
 - 1) 法人で行う各研修会を利用し、来場者に対して作品紹介・説明等を行なう事で、より障害者への理解を深めていただいた。
 - 2) 事前予約を受付け、見学会を実施。

月	実施内容
7月28日	八戸学院大学3年生 8名
9月24日	啓発講演会において作品公開 一般・専門職 30名
11月3日	一般 2名
11月25日	県新人保健師 24名
3月7日	布施病院（五所川原） 3名

➤ 障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域住民等の理解や協力を促進するために、イベントや講演会等を実施した。

【報告項目】

- ① 障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会を開催し、地域住民、公的機関の側隠との連携、協働による地域福祉のネットワークづくりを推進する。
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講習会等の実施
- ③ 障害者、高齢者、認知症者への偏見を除去し、地域住民との交流を図るためのイベント等を開催

【報告内容】

①～③共通

障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会及び障害者、高齢者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講演会の実施並びに障害者、高齢者、認知症者への偏見除去・地域交流を図るためのイベント等を開催した。

1) 障害者、高齢者、認知症者を支援するための講座の実施

実施日	講演内容	対象者
4月20日	認知症サポーター養成講座	太陽生命職員 15名
6月29日	若年性認知症について	県内精神保健福祉担当職員 約110名
7月15日	特色ある地域活動	鷗盟大学学生 約40名
8月20日	若年性認知症者に対する支援の在り方	岩手県OT協会 約15名
10月7日	認知症サポーター養成講座	青い森信用金庫職員 約25名
10月12日	認知症サポーター養成講座	田面木小学校4年 約40名
2月14日	認知症サポーター養成講座	シルバーレンタルサービス 職員 約11名

2) 講演会の開催

実施月日	実施内容	参加者
9月24日	「高齢者・障害のある人への意思決定支援のあり方について－本人中心支援を実現するチームとは？－」 講師 水島 俊彦 氏 (法テラス八戸法律事務所 弁護士 教授)	一般参加 75名 スタッフ 31名
2月18日	「福祉から生まれる町づくりの一步 ～ 共生型の地域社会を考える ～」 講師 兵庫 等 氏 (㈲HYO コーポレーション 代表取締役)	一般参加 30名 スタッフ 36名

3) イベントの開催

実施月日	実施内容	参加者
8月6日	◆すこやか祭り 当法人所有の「すこやか広場」にてすこやか祭りを実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者 35名 ・ボランティア 11名 ・地域住民 65名 ・ステージ発表者 70名

◆公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

12月23日	<p>◆もちつき大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田面木公民館を利用したもちつき大会の実施 ・当法人の活動紹介 ・地域住民、障害者、高齢者の交流の場の提供 ・障害者ボランティアによる運営補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般参加 60名 ・障害者サポーター 2名 ・田面木婦人会 11名 ・八戸市社協ボランティア 8名 ・障害者ボランティア 10名
--------	---	---

4) 認知症フレンドシップクラブ主催の「ラン伴 2016」への参加

実施月日	実施内容
9月3日	<p>主催：認知症フレンドシップクラブ 八戸市（結び家前）～岩手県庁（盛岡市）</p> <p>認知症の人と伴に生きる社会を 目指し、認知症の人、家族、支援者、一般市民が協力しあい、1つの襷をつなぎながら、ゴールを目指すイベントに参加。</p> <p>担当区間への参加チーム数 8 当法人参加人数 19名</p>

5) 八戸市主催「認知症フォーラム」への参加

実施月日	実施内容
10月16日	<p>八戸市委託事業 受託先・認知症の人と家族の会 フォーラム企画等に参加 当法人参加人数 5名</p>

➤ 高齢者・認知症者を対象とした介護予防等に関する講習会、健康教室等の開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

地域の方一人ひとりが健康維持について高い意識をもち仲間づくりをすることで、高齢者の閉じこもりを予防し、要介護状態になることを予防することを目的として事業を行う予定であったが、在宅介護支援センターたえみで行った介護予防教室のみの実施となった。

【報告項目】

①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施

【報告内容】

①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施

1) 当法人で運営する在宅介護支援センターたえみで介護予防教室を実施したが、その他在宅高齢者向けの予防教室は開催に至らなかった。

➤ 法人後見の実施及び成年後見制度利用に関する支援

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、権利擁護の推進を図ることを目的としスタッフの後見人活動を支援した。

【報告項目】

- ①法人スタッフの権利擁護活動を支援
- ②成年後見制度利用相談支援

【報告内容】

- ①法人スタッフの権利擁護活動を支援

「ぱーとなー青森」に所属する法人スタッフ 1 名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当
知的障害者 女性 60 歳代	後見事務	H24.12.14	松倉

- ②成年後見制度利用相談支援

成年後見制度利用に関する相談を各相談支援機関事業所で受け付けつけることとなっていたが、どの事業所においても対象者が 0 件であった。

➤ 県市町村その他関係機関に対するもの忘れ検診機器の貸出と講師派遣

● もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 有谷泉

【報告概要】

認知症の早期発見早期受診を目的として、もの忘れ検診機器の貸し出しを行うことで、もの忘れ検診をより普及した。

【報告項目】

- ①タッチパネル式もの忘れ検診機器の貸出
- ②もの忘れ検診機器の点検

【報告内容】

- ①タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出。

※延貸出回数：89台

月	実施内容		
4月	小林製薬(株)	認知機能テスト	2日間 1台
5月	熱海市健康づくり課	介護予防事業	2日間 3台
	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業認知機能検査	1日間 4台
6月	小林製薬(株)	認知機能テスト	2日間 1台
7月	小林製薬(株)	認知機能テスト	3日間 1台
	(株)加賀医療器	イベントでの使用	1日間 1台
	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業認知機能検査	1日間 4台
8月	新郷村地域包括支援センター	もの忘れ検診	5日間 2台
9月	熱海市健康づくり課	介護予防事業	2日間 3台
	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業認知機能検査	1日間 4台
	外ヶ浜町福祉課	そとがはま健康まつり敬老会	1日間 2台
10月	田舎館村地域包括支援センター	二次予防事業	1日間 2台
	三沢ケアマネージャー連絡協議会	三沢福祉フェア	2日間 2台
	東通村いきいき健康推進課	もの忘れ検診	1日間 2台
11月	特別養護老人ホーム寿楽荘	寿楽荘文化祭	1日間 2台
	在宅介護支援センターたえみ	介護予防教室	1日間 2台
	六戸町地域包括支援センター	もの忘れ検診	3日間 3台
	大鰐町保健福祉課	もの忘れ検診	2日間 1台
	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業認知機能検査	1日間 3台
12月	こころすこやか財団もちつき大会	検診機器展示	1日間 2台
1月	熱海市健康づくり課	介護予防事業	2日間 3台
	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業認知機能検査	1日間 4台
2月	田舎館村地域包括支援センター	二次予防事業	1日間 2台
3月	野辺地町地域包括支援センター	もの忘れ検診	1日間 2台
	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業認知機能検査	1日間 3台
延貸出回数			89台

② タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
4月	タッチパネル機器とプリンタの点検 プリンタ入替(経年劣化の為の入替)

➤ 関係団体と連携した認知症者の屋外徘徊を想定した模擬訓練の実施

● 認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 小笠原 裕美子

【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的として、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同で徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では搜索方法と徘徊者への声掛けの方法を学び、地域住民が支援者として活躍できることを目指し行った。

【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

【報告内容】

①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等を中心に、田面木まごころネットワークとして実施計画を立案した。当日は田面木地区外からも参加し、84名の参加があった。

実施日	実施内容	備考
H28.6.18	田面木地区社協と事前会議日の調整	-
H28.7月	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H28.7.21	事前会議企画書提出	-
H28.8.31	田面木まごころネットワーク事前会議開催	参加者 21名
H28.9.15	各町内、関係施設・団体へチラシ・ポスターの配布	チラシ 170 ポスター 40
H28.9.22	講師事前打ち合わせ	-
H28.10.5	取材依頼 (5社)	当日取材 4社
H28.10.14	モデル徘徊者との事前打合わせ	4施設
H28.10.19	田面木婦人会と炊き出しの打合わせ	-
H28.10.20	田面木小学校訪問	-
H28.10.23	認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施	参加者 84名

※取材：デーリー東北、東奥日報

男女共同参画社会を考える情報誌「WITH YOU」38号にて紹介

2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H28.10.20	田面木小学校4年生対象に認知症サポーター養成講座実施

②田面木地区以外の地区の依頼に応じて、ネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援を予定していたが、依頼がなかったため実施しなかった。

➤ 自動販売機等の設置及び不動産貸付事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

収益事業で収入を得ることにより、その収益の50パーセントを公益事業へのみなし寄付することで、公益目的事業の運営資金とするために事業を行った。

【報告項目】

- ①自動販売機収入
- ②公衆電話収入
- ③不動産貸付事業収入

【報告内容】

①自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎前	<ul style="list-style-type: none"> ・販売機周辺の清掃 ・入金確認

②公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	<ul style="list-style-type: none"> ・集金 ・入金 ・電話機のメンテナンス
八戸市大字田面木字赤坂 26-7 グループホーム「あおめ」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 グループホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

③不動産貸付事業収入

(1) 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> ・借主（医療法人青仁会）との打合せ ・入金確認

(2) 土地の賃貸借による収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 22-1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約内容の確認打合せ ・入金確認 ・支払確認
八戸市大字田面木字赤坂 22-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-1	
八戸市大字田面木字赤坂 24-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-4	
八戸市大字田面木字赤坂 24-5	

◆防災委員会

報告担当者 委員長 岩見 朋直

【報告概要】

利用者と職員の生命を災害から守るために、定期的な避難、防災訓練、安全対策見直しを実施し災害に備えた。また、そのために職員の防災教育を強化し防災知識と意識を高めた。災害時に職員が適切に行動できるよう緊急時対応マニュアルを作成し周知徹底を行った。

【担当委員】

- ・管理者 古川 則子
- ・委員長 岩見 朋直
- ・委員 岩澤 寿江／豊間根 雄樹／山端一雄

【報告項目】

- ①緊急連絡網作成・更新・訓練
- ②防災ポスター配布(春・秋)
- ③勉強会の開催
- ④消火器状況確認・合同消火器訓練実施
- ⑤すこやか会館避難訓練実施
- ⑥緊急時対応マニュアル作成

【報告内容】

- ①緊急連絡網作成・更新・訓練
 - ・昨年度までは、事業所ごとの作成であったが、今年度からは追加で暴力時対応として男性職員の緊急連絡網を作成し連絡訓練を行った。また、人事異動により随時更新した。
- ②防災ポスター配布
 - ・春と秋に、防災に関するポスターを各事業所に配布し、防災意識を高めた。
- ③勉強会開催
 - ・教育委員会と連携し、法人全事業所を対象として「防災・緊急時対応について」の勉強会を開催し、防災知識の習得や各事業所に対して避難訓練の実施状況を確認した。
- ④消火器状況確認・合同消火器訓練実施
 - ・各事業所に設置している消火器の使用期限の確認を行い、期限切れの物は交換した。また各事業所から1名が代表し消防署にて合同消火器訓練及び防災の備えについての勉強会を受けた。また代表者は各事業所で伝達講習し周知を行った。
- ⑤すこやか会館避難訓練実施
 - ・消防署提出書類の作成・火災時の対応マニュアルの作成・避難訓練に関する書類を作成し、消火活動に従事すると考えられる職員に参加を要請し、協力のもと避難訓練を実施した。
- ⑥緊急時対応マニュアル作成
 - ・事業所ごとに、火災・地震・台風・病状悪化・無断外出時の緊急時対応マニュアルを作成し、各事業所の防災委員が伝達を行い周知徹底した。

◆教育委員会

報告担当者 委員長 藤島 昌子

【報告概要】

福祉サービスの資質向上を図る為には専門的な対人サービスが中核となり、その対人サービス技術を提供する為には職員全体が常に専門性を高めていく必要がある。また、法人規模や事業が拡大し成熟していく中で、各職員が新任、中堅、主任者、管理者といった職務経験や職制等に依じた役割を担い相互に連携してサービスにあたる事が不可欠である。そこで、職員の専門性と組織性を学ぶ場として法人研修や勉強会を開催し、ハードとソフト両面の改革を行った。また、毎週月曜日に事例を基に処遇検討会を実施する事で、今後の支援の参考や自己研鑽を行った。

【担当委員】

- ・管理者 高橋 昭徳
- ・委員長 藤島 昌子
- ・委員 佐藤 純子／名久井 由貴子／和久井 津恵子／
金澤 一美／坂本 美由紀／原田 由紀子

【報告項目】

- ①会議の開催
- ②年間スケジュール計画作成
- ④法人主体の勉強会の立案・企画・運営
- ⑤法人研修の立案・企画・運営及び法人研修参加率向上のための施策

【報告内容】

①会議の開催

(1)会議を9回開催。第1回では、委員会の目的や法人研修、勉強会、処遇検討会議の日程等を委員に説明し、年間の会議日程と議事録作成担当者を決定した。また法人全体の勉強会の開催のために、他の委員会や外部研修受講者に伝達講習を依頼。ニーズや業務内容に合致した研修の選定を行った。さらに、研修参加人数、反省点・課題点を挙げ、次回の研修へ活かすよう会議で検討した。

※教育委員会開催概要

開催日	会議内容
4/4	活動内容、議事録作成及び各勉強会・研修会の担当者の設定、企画書・報告書作成の手順の確認、年間スケジュールの策定と周知、研修会開催までの手順の説明
4/18	法人研修当日役割分担・進捗状況確認 勉強会進捗状況についての確認
5/30	法人研修報告・研修予定・進捗状況確認 法人研修欠席者扱いについての話し合い 勉強会進捗状況について
6/20	法人研修予定・進捗状況確認
8/9	法人研修報告・研修予定・進捗状況確認 勉強会進捗状況について 法人研修ビデオ研修について
9/14	法人研修予定・進捗状況確認 勉強会進捗状況について
10/21	法人研修報告・研修予定・進捗状況確認 勉強会進捗状況について
12/8	法人研修報告・研修予定・進捗状況確認 勉強会進捗状況について
2/8	法人研修報告 28年度委員会活動内容の振り返り・課題点の話し合い 次年度年間スケジュール確認と次年度法人研修の立案・企画

②年間スケジュール計画作成

平成28年度の処遇検討会議の事例担当事業所、法人研修、勉強会の実施スケジュールを作成した。

③法人勉強会の立案・企画・運営

スケジュールに沿って必須項目を確認し5回10講義を実施した。

※勉強会概要（講義形式）

	実施日	勉強会項目	講師
1	6/13（月）	①事故・ヒヤリハットに伴う事故防止対策について ②感染症・食中毒の予防及びまん延の防止	①坂下優子 ②川端浩
2	9/10（月）	①緊急時の対応及び防災対策 ②苦情対応	①岩見朋直 ②澤口郁子
3	11/12（土）	①従業員の為のストレスマネジメント ②省エネ対策・コスト意識	①高橋昭徳 ②有谷泉
4	1/16（月）	①認知症介護の基礎知識・人権意識と接遇向上・成年後見制度 ②ノロウイルス対策について（講義・演習）	①小笠原裕美子 ②感染対策委員会
5	2/20（月）	①アセスメント方法や記録方法 ②従業員の支援技術の向上	①森富茂子 ②古川則子

④法人研修の立案・企画・運営

スケジュールに沿って年5回、5講義を実施した。

※法人研修概要（第3回のみグループワーク 他講義形式）

	実施日	研修項目	参加者	講師
1	4/22（金）	苦情対応 ～顧客満足のための意識向上～	参加 32 名	三井住友海上火災保険（株） 経営サポートセンター五十嵐常太氏
2	7/5（火） 8/22（月）	障害者の権利擁護と虐待 について	参加 36 名	青森県社会福祉協議会 運営適正化委員会 中谷隆則氏
3	11/11（金） 11/21（月）	医療観察法及び包括的暴力 対応プログラム	参加 36 名	青森保護観察所 社会復帰調整官 鹿俣巨氏
4	11/24（木） 12/5（月）	精神科医療の現状と統合失調 症医療の最近の知見	参加 37 名	医療法人財団 青南病院 深澤隆病院長
5	1/20（金）	乳がんについて	参加 34 名	MSK 保険センター（株） ライフコンサルタント 末竹秀子氏

◆ホームページ委員会

報告担当者 委員長 橋本 亮一

【報告概要】

定期的なホームページの更新管理の継続に加え、ホームページ全体のリニューアルを中心に検討し実施した。また各事業所での活動記録をブログとして掲載し、法人全体の活動の周知に努めた。

【担当委員】

- ・管理者：松倉 典子
- ・委員長：橋本 亮一
- ・委員：田中 秀美／間山 未来／坂本 瑠理子／沼山 忍／有谷 泉

【報告項目】

- ① 法人ホームページのリニューアル
- ② 各事業でのブログ作成、掲載
- ③ 最新の情報を更新

【報告内容】

①法人ホームページのリニューアル

旧式のテンプレートから新テンプレートに変更する必要があるため、リニューアルについて検討を実施。新テンプレートを適用し、以前のものより閲覧者が情報を見やすいように工夫し作成した。

課題：同業者であればわかるような内容のホームページになっているため、同業種以外の一般の方々にとっても分かりやすいような内容や表示方法について次年度以降に検討する。

②各事業所でのブログ作成、掲載

各事業所でイベントや行事があった際には、担当者がブログを作成しホームページに掲載する事で、各事業所での活動内容等を周知する事ができた。年々各事業所のブログの掲載数が増え、内容の充実を図ることができた。

③最新の情報を随時更新

新規事業の発足、制度改正によるサービス利用基準等の変更により随時ホームページの内容を更新した。

【実施内容】

実施月	会議内容	ブログ掲載実施内容
4月		ブログ掲載 1 件 (青山荘)
5月	5/16 委員会開催 ブログ掲載状況報告・ホームページ修正	
6月	6/20 委員会開催 ホームページリニューアル検討 ブログ掲載状況報告・ホームページ修正	
7月		ブログ掲載 3 件 (結び家 1 件、青風荘 1 件、青明舎 1 件)
8月	8/22 委員会開催 ホームページリニューアル検討 ブログ掲載状況報告	ブログ掲載 1 件 (法人行事夏祭り 1 件)
9月	9/12 委員会開催 ホームページリニューアル検討	ブログ掲載 2 件 (法人行事 RUN 伴 1 件、青風荘 1 件)
	9/22 委員会開催 ホームページリニューアル検討	

10月	10/17 委員会開催 ホームページリニューアル検討 ブログ掲載状況報告・ホームページ修正	ブログ掲載 3件 (青山荘 2件、青明舎 1件)
11月	11/21 委員会開催 ホームページリニューアル実施 ブログ掲載状況報告 ホームページ引継ぎ (青仁会滝上氏→橋本、間山)	ブログ掲載 1件 (青明舎 1件)
12月	12/19 委員会開催 ブログ掲載状況報告 ホームページ引継ぎ (青仁会滝上氏→橋本、間山)	※青仁会委託契約終了→31日 ブログ掲載 6件 (青風荘 3件、みさわ 2件、法人行事田面木まごころネット ワーク認知症徘徊模擬訓練 1件)
1月	1/16 委員会開催 ブログ掲載状況報告 ホームページ引継ぎ (青仁会滝上氏→橋本、間山)	ブログ掲載 5件 (青風荘 1件、青明舎 1件、法人行事 餅つき大会 1件・啓発講演会 1件、青 山荘 1件)
2月		
3月	委員会開催 ブログ掲載状況報告	ブログ掲載 5件 (法人行事啓発講演会 1件、青明舎 1 件、みさわ 3件)

◆事故対策・苦情対策委員会

報告担当者 委員長 澤口 郁子

【報告概要】

各事業所におけるリスクマネジメント、標準化と継続的改善を進め、組織的な事故防止対策を行い事故の減少に努めた。また、組織損失を低減するとともに安全なサービスを受けられる環境を整え、お客様の安全確保とサービスの質の向上を目指していくことを目的として運営した。

【担当委員】

- ・管理者：坂下 優子
- ・委員長：澤口 郁子
- ・委員：白石 路子／百鳥 勝広／尾方 重幸／荒川 綾乃

【報告項目】

- ①事故・インシデントに関する事項
- ②苦情対応に関する事項

【報告内容】

- ①事故・インシデント対応に関する事項

1) 活動内容

月	行動報告
5月16日	事故発生時の報告書作成や管理に関する流れの確認
5月17日	事業所で『苦情解決責任者』と『苦情受付担当者』を決定
6月19日	『事故・ヒヤリハットに伴う事故防止対策について』法人内で勉強会開催
6月20日	苦情解決制度に関するポスター掲示の準備 インシデント報告書の投函用箱を準備
7月18日	インシデント報告書の統計表の整備 8月よりスタッフ全員にメールにて報告するための配信の準備
毎月	委員会定例会の実施 インシデント・事故報告集計表の配信

2) 平成28年度 事故・インシデント報告件数

事業所名	事故発生状況	インシデント
本部事務	0件	0件
ケアプランセンター まゆすい	1件	0件
在宅介護支援センター たえみ	0件	0件
認知症対応型通所介護 結び家	3件	7件
グループホーム あおば	0件	1件
〃 あおぞら	0件	0件
〃 あおめ	0件	0件
〃 あおみ	0件	0件
グループホーム 青風荘	0件	5件
地域生活支援センター 青明舎	1件	3件
特定相談支援事業所 青明舎	0件	0件
障害者生活訓練施設 青山荘	6件	1件
障害者就業・生活支援センターみさわ	0件	0件
総合計	11件	17件

②苦情対応

1) 活動内容

月	行動報告
7月～8月	苦情解決対応フローチャートの確認 委員会内で苦情解決の様式1～6の流れについて再確認
9月11日	苦情対応について法人内で勉強会実施 苦情処理の流れや様式1～6について、法人内の職員で確認
12月	意見箱の設置、意見記入用紙の整備 (記入用紙も法人で統一した様式のものを用意) ※意見箱設置については、各事業所の管理者に設置の必要性を確認し、必要であると回答をいただいた事業所のみ意見箱を設置
3月24日	第一回 苦情に関する第三者委員への報告会の開催
毎月	委員会定例会実施

2) 苦情対応件数

事業所名	年間の件数
財団本部事務	0件
ケアプランセンター まゆすい	1件
在宅介護支援センター たえみ	0件
認知症対応型通所介護 結び家	0件
グループホーム あおば	0件
// あおそら	0件
// あおめ	0件
// あおみ	0件
グループホーム 青風荘	0件
地域生活支援センター 青明舎	0件
特定相談支援事業所 青明舎	0件
障害者生活訓練施設 青山荘	0件
障害者就業・生活支援センターみさわ	0件
総合計	1件

◆行事委員会

報告担当者 委員長 小笠原 裕美子

【報告概要】

年間の法人行事を通じて職員間の交流・親睦を深められるよう、各行事の企画・運営を取りまとめ実施した。

【担当委員】

- ・管理者：森 富茂子
- ・委員長：小笠原 裕美子
- ・委員：外崎 千明／西村 貴史／三浦 泰行

【報告項目】

- ①年間行事の企画・運営
- ②委員会の開催

【報告内容】

①年間行事の企画・運営

(1) 役員及び評議員との懇談会ならびに新人職員歓迎会

日 時：平成28年6月20日（月）18:30～21:00

場 所：八戸プラザホテル

参加者：59名（職員37名、招待者22名）

(2) 職員旅行

日 時：（1班）平成28年9月18日（日）8:30～16:30

（2班）平成28年9月21日（水）8:30～16:30

場 所：カワヨグリーン牧場

参加者：（1班）20名 （2班）19名

内 容：パークゴルフ、バーベキュー、棒パン作り

(3) 新年会

日 時：平成29年1月6日（金）18:30～20:30

場 所：魚や吟翠

参加者：48名（職員39名、役員・評議員9名）

(4) 慰労会

日 時：平成29年3月24日（金）18:30～20:30

場 所：串焼酒場

参加者：36名

②委員会の開催

必要時委員会を開催し、各行事の企画・運営を行った。

4月	顔合わせ、担当業務の割り当て、懇談会・職員歓迎会について（日程）
6月	懇談会・職員歓迎会について（席図・会の内容・役割分担・最終確認等）
7月	職員旅行について（日程・行先の検討）
8月	職員旅行について（行先・内容の検討）
9月	職員旅行について（最終打合せ）
11月	新年会について（日程・場所・タイムスケジュールの確認等）
12月	新年会について（会場下見、ビンゴゲーム景品準備等）
1月	新年会について（最終打合せ）
2月	慰労会について（日程・場所・タイムスケジュールの確認等）
3月	慰労会について（会場下見等）

◆感染対策委員会

報告担当者 委員長 川端 浩

【報告概要】

各事業所において、感染症が発生又はまん延しないように、必要な処置を講ずるための体制を整備することを目的に感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止を図り、利用者様、入所者様及び職員の安全確保を図るため委員会を運営した。

【担当委員】

- ・管理者 小坂 和子
- ・委員長 川端 浩
- ・委員 江口 直美／竹ヶ原 美和／馬淵 豊子

【報告項目】

- ①感染対策委員会の開催
- ②感染症に関する勉強会の実施
- ③感染症及び食中毒まん延時期に注意喚起の実施

【報告内容】

①感染対策委員会の開催

実施日	実施内容
28.4.18	平成28年度活動内容の検討
28.7.4	各事業所感染対策マニュアルについて確認
28.10.3	夏期期間における活動結果について検討
29.1.9	第2回勉強会実施内容について検討

②感染症に関する勉強会の実施(教育委員会と連携)

実施日	実施内容
28.6.13	「感染症の予防及びまん延の防止」について
29.1.16	「ノロウイルスについて(実技含む。)」について確認

③感染症及び食中毒まん延時期に注意喚起の実施

委員会において資料を作成後、各事業所に配布し注意喚起を行った。

実施日	実施内容
28.5.18	食中毒及びノロウイルスについて
28.8.22	腸管出血性大腸菌(O157)について
28.9.15	風しん(はしか)について
28.10.10	インフルエンザについて